

## 初めて参加した広報キャンペーン

長崎市と合併した事により、私も旧三和町から仲間入り（広報啓発専門委員）して活動させていただいております。私たちの活動の一つに、年一回広報車で市民の皆さんや子どもたちに「育成協の活動や様々な啓発」を呼びかけ訴えて廻る（広報キャンペーン）があります。これまで、諸事情と重なり参加叶わず、今回初めての出勤（笑）となりました。平成20年12月14日（日曜日・快晴）車2台、参加者総勢13名で市民会館横を、いざ出発！

「皆さんこんにちは！長崎市青少年育成連絡協議会です。子どもは地域の宝です！」etc、マイクで呼び掛けながら市の中心部より神ノ島方面へと車を走らしました。と、何やら賑やかな声が…、聞き覚えのある音と湯気が…。なんと“餅つき”が行われていたのです。車を止めてお話を伺ってみる事にしました。

神ノ島内の一つの自治会で数十年続けているとの事。子どもたちから年配の方まで老若男女が睦まじく…ほのぼのとした光景でした。これこそ私たちが呼び掛けている地域のみinnで健全育成を実践している姿だ！と、嬉しくなりました。そしてなんと、突然お邪魔したにも拘らず二つのお土産を頂きました。一つは“お餅”（ご馳走様でした）、もう一つは自治会長さんのお話。「つき上がった餅ば取った後、臼にこびりついた餅ば食べると歯ざしりが治るとってさ！」。

その後、女神大橋から田上、茂木、日吉方面を廻りキャンペーンを終了。人の暖かさと師走を感じ、また一緒に参加した広報啓発委員会メンバーとの絆も深めた一日でした。

広報啓発専門委員 岩本 久美子



出発前に広報車前で



神ノ島のモチつきに飛び入り参加



## 平成20年度 育成連、市子連、広報啓発関係事業報告（敬称略）

① 県子連表彰

(1) 個人表彰

松林 廣美

（橘中学校区育成協事務局長）

柿田 徹

（横尾中学校区育成協事務局）

(2) 団体表彰

東望団地わんぱく子ども会

※九子連表彰者は今年度なし

② 全子連表彰

(1) 個人表彰

川原 精二

（伊良林小学校区市子連専門委員）

③ 県民会議顕彰

(1) 個人表彰

山口 政嘉

（茂木中学校区育成協議会事務局）

中村 勝文

（福田中学校区育成協議会事務局）

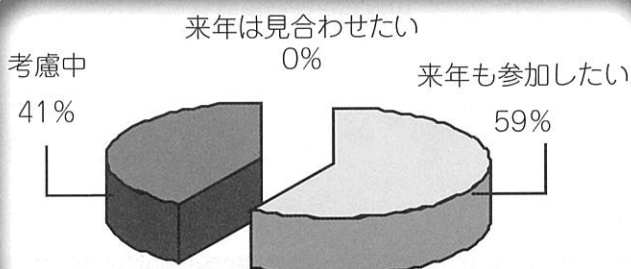
おめでとうございます



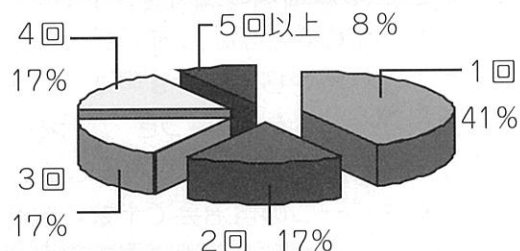
# 第6回目開催となる「子どもゆめフェスティバル'08(平成20年11月29日)」は、 1,500名(子ども大人含め)余りの来場者を迎え 盛況の内に事故もなく終了できたことを報告します。

また、今回ブース参加の方に「ゆめフェス」に関するアンケートをお願いし、17子ども会より返答を頂きましたので、次回の「ゆめフェス」参加を検討される際の参考にしていただければ幸いです。  
アンケート結果(紙面の都合上、一部掲載しておりません。ご了解下さい。)

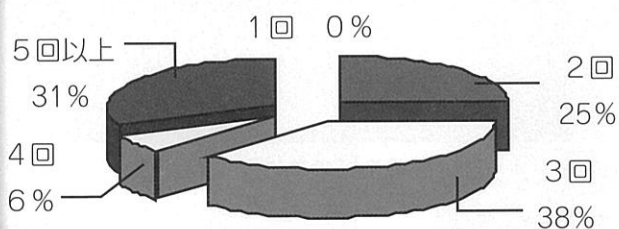
## Q1 ブースに参加していかがでしたか？ 来年はどうしますか？



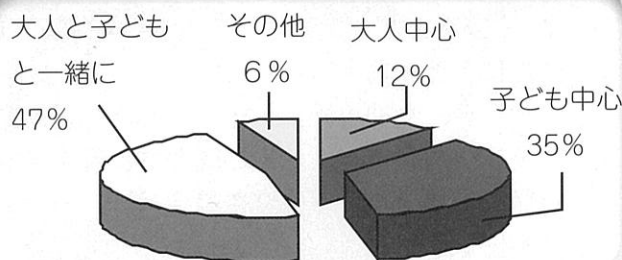
## Q2 今回のゆめフェスに向けて、どのような 取り組みをしましたか？ の1 ■大人だけの話し合いや準備作業



## Q2 今回のゆめフェスに向けて、どのような 取り組みをしましたか？ の2 ■子どもを交えての話し合いや準備作業



## Q3 ブースの活動内容を決めたり、主体的に 取り組んだのは誰ですか？



どのブースも行列ができる程の人気

## 編集後記

### 絆

今回は絆について少し考えたいと思います。

いろんな絆があると思いますが、皆さんはどんな絆を大切にしていらっしゃいますか。

辞書で引くと、「家族・友人などの結びつきを、離れがたくつなぎとめているもの」とあります。私は、家族との絆がもっとも大切だと考えます。でも家族であれば簡単に絆はできるのでしょうか、気持ちですれ違っては離れがたくつなぎとめることはできないでしょう。お互いを認め合い信頼(信じて頼ること)していくことが大切だと思います。

いずれにしても、長い時間をかけて築き上げていくものだと思いますが、皆さんはどう思いますか。

広報啓発委員も皆さんとの絆を大切に頑張っていきます。